

2025 年度

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

事業計画書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

2025 年度 事業計画書

1 海外看護研修助成－長期海外研修（公募事業）－

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有する者を対象として、2 週間の研修に要する研修費、宿泊費及び往復航空運賃等を全額助成する。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により中断していたが、2023 年 9 月に 4 年ぶりに再開した後 2024 年度実施に続き、2025 年度も行う。

① 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター所在 メイヨークリニック

② 研修対象者

本年 2 月 18 日（火）都内において、公募 3 事業（本事業、看護研究助成及び専門看護師奨学金助成）に関する選考委員会を開催した。

応募者 11 名について審議した結果、9 名が助成対象候補となった（2024 年度 6 名）。

③ 研修期間

2025 年 9 月 13 日～同月 28 日（予定）

2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者またはその者を研究代表者とする研究グループを対象として、1 件当たり 100 万円を限度として助成金を支給する。

研究成果の報告方法については、従前どおり「看護研究報告書」を提出いただくのに加え、2023 年度からは研究論文の学会誌等への投稿・掲載をもって研究成果の発表とし、その場合、当該論文（別刷り）及び抄録を提出いただくことで報告とすることを認めた。

応募 40 件（前年度同 29 件）について選考委員会で審議した結果、10 件が助成対象候補となった（前年度同 10 件）。

3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程の最終年次進級予定者に対し、1 件当たり年額 70 万円（2024 年度までは同 60 万円）の助成を行う。2022 年度までは、2 年コースの教育課程履修者に助成対象を限ってきたが、2023 年度以降は、3 年以上の教育課程履修者にも助成対象を拡大している。

応募者 34 名（前年度同 25 名）について選考委員会で審議した結果、13 名が助成対象候補となった（前年度同 11 名）。

4 看護に関する講演会

看護に関する講演会については、2022 年度以降ウェブ形式に切り換えて実施しているが、2025 年度も 10 月下旬に実施する。配信方法については、多忙な看護職のニーズに合致するオンデマンド配信（期間 1 か月）とする。

ウェブ講演会の企画・立案にあたっては、これまで当財団の事業助成を受け、現在看護の第一線でご活躍の方々にアドバイザリーボードのメンバーとして前年度に続き参画いただく。また当財団と長きにわたり交流を続けているメイヨークリニックにも前年度に続き協力を求めることとする。

5 刊行物の発行等

（1）2025 年 9 月に事業の概況や財務状況等を記載した「年次報告書」を新たに発行する。従前毎年発行してきた事業の成果に関する刊行物「看護研究集録」「海外看護研修レポート」及び「ウェブ講演会の記録」は、本報告書に統合する。引き続き医療機関等の看護職や関係団体等に配布を行う。

（2）当財団の事業の概要を記載した小冊子「財団概要」を 2026 年 3 月までに全面改訂する。必要に応じて関係者に配布する。

6 海外看護研修オリエンテーション等

（1）2025 年 7 月に海外看護研修生に対するオリエンテーションを実施する。また同年 12 月に同研修報告会を実施する。

（2）2025 年 8 月に看護研究成果報告会を実施する。2023 年度助成分からの成果報告（助成から 2 年後に実施）は、従前の「看護研究報告書」に加え、研究論文の学会誌等への投稿・掲載においては当該「抄録」によるものを認めたことを受けたものである。

（3）メイヨークリニックから、当財団とのエクスチェンジプログラムにより、看護職（4 名）の訪日を前年に続き今秋も行いたい旨の連絡があった。これを受け、2025 年 11 月に当財団主催の交流イベントを企画・実施する。

2025年度

事業計画に関する附属明細書

- 1 海外看護研修助成対象者名簿
- 2 看護研究助成対象者名簿
- 3 専門看護師奨学金助成対象者名簿

1 2025年度 海外看護研修助成対象者名簿

メイヨークリニック 9名

敬称略 五十音順

氏名	勤務先	職名
いとう けいこ 伊藤 恵子	京都大学医学部附属病院	助産師 (看護師・助産師・保健師)
うちむら ちさと 内村 千里	関西労災病院	看護師 (看護師)
さとう あやか 佐藤 彩香	東京大学医学部附属病院	看護師 (看護師)
にしね あやこ 西根 綾子	三重中央医療センター	副看護師長 (看護師)
はんだ けいこ 飯田 恵子	医療法人社団淳英会おゆみの中央病院	看護師 (看護師)
ふしみ ゆきひろ 伏見 幸弘	慶應義塾大学病院	看護師 (看護師・保健師)
まきの さちこ 牧野 佐知子	国立病院機構豊橋医療センター	副看護師長 (看護師・保健師)
みなかた さき 南方 咲季	京都大学医学部附属病院	看護師 (看護師)
よこた まりな 横田 真梨菜	聖路加国際病院	看護師 (看護師)

2 2025年度 看護研究助成対象者名簿

10 件 774.6万円

敬称略 五十音順

単位:万円

研究代表者 氏名	勤 務 先	職 名	研 究 課 題	申込額	査定額
えもと ちはる 江本 千晴	北海道社会事業協会小樽病院/ 東北大学大学院 医学系研究科	看護師/ 博士課程3年	思春期1型糖尿病患者の親子間における糖尿病管理責任移行の現状と関連要因の探索	98.7	93.7
かなや ふみや 金谷 史哉	社会医療法人財団池友会新行橋病院/ 福岡県立大学 看護学研究科	看護師主任/ 修士課程1年	クリティカルケア領域における代理意思決定者へのパンフレット介入がPICS-Fに与える影響: 非ランダム化比較試験	72.0	57.6
ごとう すぐる 後藤 俊	山口大学医学部附属病院 看護部/ 山口大学大学院 医学系研究科	看護師/ 修士課程2年	気管挿管患者に対応した口腔内アセスメント指標の妥当性の検証	26.0	26.0
さとう けんた 佐藤 健斗	福島県立医科大学附属病院/ 福島県立医科大学大学院 看護学研究科	看護師副主任/ 博士課程1年	手術患者の正常体温維持のための効果的なブレウウォーミング・ケア開発 -ランダム化比較試験-	90.6	90.6
すぎしま かん 杉島 寛	久留米大学病院	看護師長	High Flow Nasal Cannulaのフローによる嚥下への影響の検証	90.4	79.4
なかお ゆか 中尾 有花	近畿大学病院/ 千葉大学大学院 看護学研究科	看護師主任/ 博士課程3年	認知症を有する高齢がん患者が行う治療選択のためのケア指針の開発	90.1	86.5
ほうだつ ちさと 宝達 千里	国立大学法人金沢大学附属病院/ 石川県立看護大学大学院 看護学研究科	看護師長/ 修士課程1年	急性期病院の一般病床入院患者における身体抑制のない看護がもたらす新しい効果の網羅的探索	100.0	65.8
まなべ ちえ 眞鍋 千恵	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター/ 横浜市立大学大学院 医学研究科	看護師/ 博士課程1年	疼痛評価スケールNRS値を指標とした術後疼痛管理による睡眠障害の予防効果の検証	100.0	100.0
よしだ たき 吉田 多紀	公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院/ 筑波大学大学院 人間総合科学学術院	専門係長・糖尿病看護特定 認定看護師/ 博士課程2年	2型糖尿病患者の経済毒性に関する実態調査と看護支援ガイドの検討-糖尿病看護の質向上を目指して-	100.0	75.0
わたなべ だい 渡部 大地	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院/ 北海道大学大学院 医学院	診療看護師 (NP)/ 博士課程2年	診療看護師(NP)配置と重症患者の集中治療室死亡割合との関連-多施設データによる後ろ向きコホート研究-	100.0	100.0
合 計				867.8	774.6

3 2025年度 専門看護師奨学金助成対象者名簿

13名

敬称略 五十音順

氏 名	大 学 院 名	専 門 分 野
おがた めぐみ 尾形 恵	山形県立保健医療大学大学院	精神看護
かも さわこ 加茂 紗和子	名古屋大学大学院	がん看護
かわしま ゆうと 川島 優人	京都大学大学院	急性・重症患者看護
こだま ゆうじ 小玉 勇士	京都大学大学院	慢性疾患看護
さくま あさみ 佐久間 麻美	東北大学大学院	がん看護
さとう いよ 佐藤 伊代	宮崎大学大学院	がん看護
たかはし めぐみ 高橋 恵湖	日本赤十字看護大学大学院	精神看護
だんばら ひでひと 檀原 秀仁	東京女子医科大学大学院	精神看護
なかざわ はるか 中沢 春花	聖路加国際大学大学院	遺伝看護
にしたに かおり 西谷 香織	京都橘大学大学院	母性看護
ひらい おさむ 平井 治	奈良学園大学大学院	精神看護
ほそや めぐみ 細谷 恵美	千葉大学大学院	がん看護
やまだ なおや 山田 直哉	山口大学大学院	急性・重症患者看護